

5G(電磁波)の 危険性



5G(電磁波)の 危険性





mRNA とは？

酸化グラフェン / 5G / ナノ回路

アストリッド・スタッケルバーガー博士

Dr Astrid Stuckelberger 2023/03/07



**5G 通信、
重大な健康被害示す研究相次ぎ、
世界で導入禁止の運動？**

自由気ままに生きると云うこと／ひまわり工房

電磁波



https://www.ccs-inc.co.jp/museum/column/light_color/vol2.html

スペイン風邪

A型インフルエンザウィルス (RNA)H1N1亜型

- 世界で3回のパンデミックが発生。
- 世界で**推定**感染者数：5億人／20億人、
死者数：1700万人～1億人、
- 日本における推定死亡率：**1.63%**
- アメリカでの感染実験：**0 / 300**
- オバマ大統領がパンデミックを煽った
後、2009年アメリカで流行：H1N1イ
ンフルエンザワクチン
- マーチンルーサーキング牧師記念病院
**H1N1で16人死亡、全員ワクチン接種
履歴**



電磁界の種類	非電離放射線							電離放射線
	静電磁界	超低周波電磁界	中間周波電磁界	高周波電磁界			光	放射線
周波数	ゼロ	300Hz以下 (50/60Hz：電力設備) 超低周波	300Hz～ 10MHz (20～90kHz：IH調理器) 中間周波	10MHz～ 300MHz	300MHz～ 3GHz (2.45GHz：電子レンジ) マイクロ波	3GHz～ 3000GHz (3THz)	3THz～ 3000THz	3000THz以上
波長	なし							
主な発生源や利用例	・地磁気 ・磁石 ・鉄道 ・MRI	・電力設備 ・家電製品電源 ・鉄道	・IH調理器 ・鉄道	・ラジオ放送	・電子レンジ ・携帯電話 ・テレビ放送	・BS(衛星放送)	・太陽光	・レントゲン

注：周波数「Hz(ヘルツ)」は1秒間に振動する数で、電磁波の伝わる速さ「 $3 \times 10^8 \text{m/秒}$ 」を波長で割った数です。
k(キロ)＝ 10^3 、M(メガ)＝ 10^6 、G(ギガ)＝ 10^9 、T(テラ)＝ 10^{12}

https://www.jeic-emf.jp/assets/images/home/Electromagnetic_frequency_Ja.png

スペイン風邪

A型インフルエンザウィルス (RNA)H1N1亜型

Link to the book

The Invisible Rainbow: A History of Electricity and Life

by
Arthur Firstenberg

Translation of the French summary authored by Sathène Berger, Dipl-ing
L'arc-en-ciel invisible - Une histoire de l'électricité et de la vie
[Télécharger le résumé en version française](#)

Can you translate into other languages? If so, please contact:
invisiblebowtranslation@protonmail.com

国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP)

International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

目的

非電離放射線（電磁波）へのばく露の防護に関し指導と助言、科学的レビュー、WHOのリスク評価結果を受けてICNIRPは、ばく露防護ガイドラインを改定する。

ガイドライン

ばく露特性	周波数範囲	体内電界 ($V\ m^{-1}$)
職業的ばく露 頭部のCNS組織	1 Hz- 10 Hz	0.5 / f
	10 Hz - 25 Hz	0.05
	25 Hz - 400 Hz	2×10^{-3} f
	400 Hz - 3 kHz	0.8
	3 kHz - 10 MHz	2.7×10^{-4} f
頭部と体部の全組織	1 Hz - 3 kHz	0.8
	3 kHz - 10 MHz	2.7×10^{-4} f
公衆ばく露 頭部のCNS組織	1 Hz- 10 Hz	0.1 / f
	10 Hz - 25 Hz	0.01
	25 Hz - 1000 Hz	4×10^{-4} f
	1000 Hz - 3 kHz	0.4
	3 kHz - 10 MHz	1.35×10^{-4} f
	1 Hz - 3 kHz	0.4
頭部と体部の全組織	1 Hz - 3 kHz	0.4
	3 kHz - 10 MHz	1.35×10^{-4} f



ICNIRPより厳しい規制国

イタリア：1980年汚、バチカン放送施設10km以内と外の比較、子供の白血病発生率、成人の死亡率が2km以内で高くなり、離れるほど減少することを報告した。

業務で12年間携帯電話使用して脳腫瘍になった会社員の労災を認定（原因が携帯電話であることの判断）

ギリシャ：一般の人が立ち入る場所ではICNIRPガイドラインの70%を超えてはならない。学校、幼稚園、病院、高齢者施設から300メートル以内は60%を超えてはならない。

欧州評議会（47カ国が加盟）：暫定規制値として $0.1\mu W/cm^2$ （日本の1万分の1）、将来は $0.001\mu W/cm^2$ （日本の100万分の1）を勧告した。

旧ソビエト連邦：1953年ロシア医療科学アカデミー電磁放射研究室設置し、研究を開始。

出典：加藤やす子著、5Gクライシス

電磁波問題の経緯

電力設備などから発生する**50ヘルツ (Hz)ないし60ヘルツ (Hz、なぜこの周波数の送電を行うのか?)**の電磁界

1973年76万5千ボルト超高压送電線建設プロジェクト (米国) 訴訟

和解条件：(1)電界の制限値を既設送電線下レベルの1.6キロボルト毎メートル (kV/m)。 (2) 安全が確認されるまで76万5千ボルト送電線の建設は認めない。

1979年ワートハイマー、リーパー (米国) の疫学研究

1950年～1973年に小児がんで死亡した344人を調査し、**配電線の近くに住む子どもは小児がん死亡率が高い**ことを示唆した。

1987年サビッツ (米国) の疫学研究

配電線の近くに住んでいた14歳以下の小児がん (特に白血病) の発症率が、配電線の近くに住んでいない子供と比較して**1.5～2倍高い**ことを報告。

1992年カロリンスカ研究所 (スウェーデン) の疫学研究

1960年～1985年のデータ解析、送電線から300m以内に住む子どもの小児白血病を発症する**相対危険比は、磁界ばく露レベル (計算値) が0.2マイクロテスラ (μT) 以上で2.7倍高い**ことを報告。

電磁界情報センター (jeic)より

各国の電磁波被曝規制

ICNIRP: 国際非電離放射線防護委員会

ICNIRPとの比較	国・地域・自治体名	900MHz 基地局 (μW/cm ²)	1800MHz 基地局 (μW/cm ²)
ICNIRPより緩い	日本、アメリカ	600	1000
ICNIRPと同等	メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、ペルー、フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、フランス、イギリス、ドイツ、オーストリア、ハンガリー、オーストラリア、ニュージーランド、韓国、シンガポール、マレーシア、フィリピン、タイ、イスラエル、南アフリカ	450	900



100μW/cm²=W/m² 出典：加藤やす子著、5Gクライシス

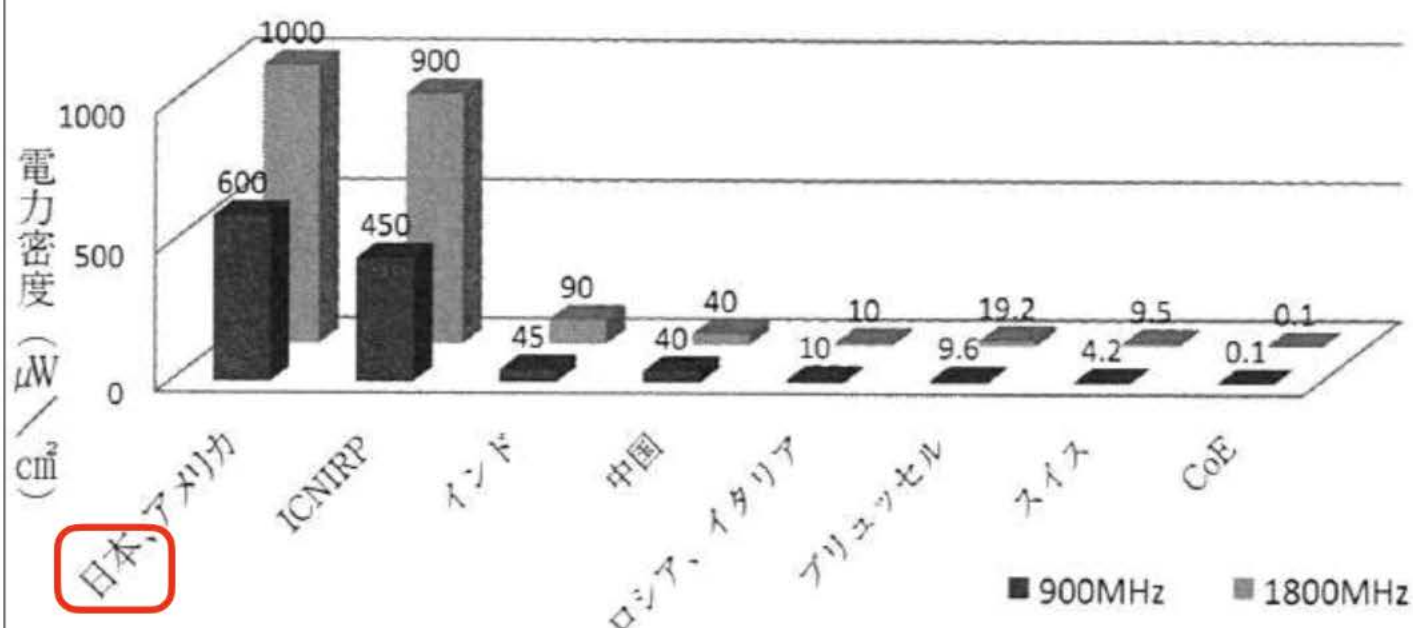
各国の電磁波被曝規制

ICNIRP: 国際非電離放射線防護委員会

ICNIRPより 厳しい	イタリア 被曝制限 注意値 品質目標	100 10 10	
	ギリシャ 一般の場所 学校、幼稚園、病院周辺	315 270	629 540
	ロシア、ブルガリア、リトアニア	10	
	ウクライナ	2.5	
	欧州評議会 (CoE)	0.1 (暫定) 0.01 (将来)	
	中国	40	
	インド	45	90

出典：加藤やす子著、5Gクライシス

携帯電話電磁波に関する規制値の比較



参考：総務省「各国の人体防護に関する基準・規制の動向調査報告書」(2018) ほか

出典：加藤やす子著、5Gクライシス

各国の電磁波被曝規制

ICNIRP: 国際非電離放射線防護委員会

ICNIRP より 厳しい	カナダ	274	439
	ベルギー		
	ブリュッセル	9.6	19.2
	フランドル	2.4	4.7
	ワロン	2.4	2.4
	パリ (フランス)	6.6	
	スイス	4.2	9.5
	イタリア		
	被曝制限	100	
	注意値	10	
	品質目標	10	
	ギリシャ		
	一般の場所	315	629
	学校、幼稚園、病院周辺	270	540

出典：加藤やす子著、5Gクライシス

移動通信システムの進化

6

- これまでに割り当てられた各周波数帯で、広く全国に4Gのサービスが提供。
- キャリアアグリゲーション技術(CA)により各周波数帯を一体的に運用することが可能となり、周波数特性に応じたサービス提供が可能に。
- 2020年までの5G実現に向けて、3.7GHz帯、4.5GHz帯、28 GHz帯の平成30年度末頃までの周波数割当てを予定。

周波数帯	700MHz	800MHz	900MHz	1.5GHz	1.7GHz	2GHz	2.5GHz	3.4GHz 3.5GHz	3.7GHz 4.5GHz 28 GHz
割当方針		H17.02.08				H12.03.27			
開設計画 認定日 (割当日)	H24.06.28		H24.03.01	H21.06.10	H17.11.10 H18.04.03 H21.06.10 H30.04.09		H19.12.21 H25.07.29	H26.12.22 H30.04.09	
世代		第2世代 移行		第2世代 移行					
		第3世代				第3世代			
		第3.5世代	第3.5世代	第3.5世代	第3.5世代	第3.5世代			
	第3.9世代	第3.9世代	第3.9世代	第3.9世代	第3.9世代	第3.9世代	BWA		
	第4世代	第4世代	第4世代	第4世代	第4世代	第4世代	高度BWA	第4世代 (3.4GHzサービス予定)	
高速・大容量通信に適した高い周波数帯が利用される傾向									第5世代 (割当予定)

出典：Otitoloju et al. Bull Environ Contam Toxicol (2018)84:51-54

免許人数、無線局数

免許人数 6者
無線局数 約7.1億局(※2)

※1 基地局数、陸上移動中継局数及び陸上移動局数の合計値
※2 免許情報が複数の周波数帯に係る無線局は、当該複数の周波数帯ごとに重複して無線局数をカウントしているため、免許申請若しくは届出された無線局数と数が異なる。

○ 各免許人等に割り当てられた周波数帯ごとの基地局数(※3)の調査結果は下表のとおり。

	700MHz帯	800MHz帯	900MHz帯	1.5GHz帯	1.7GHz帯	2GHz帯	2.5GHz帯	3.5GHz帯	合計
	FDD	FDD	FDD	FDD	FDD	FDD	TDD	TDD	
	LTE/4G 6,700	LTE/4G 68,000 3G 68,300	—	LTE/4G 26,200	LTE/4G 17,400 東名阪のみ	LTE/4G 70,000 3G 71,200	—	LTE/4G 14,100	LTE/4G 202,400 3G 139,500
	LTE/4G 6,800	LTE/4G 56,500 3G 36,100	—	LTE/4G 10,500	—	LTE/4G 39,800	—	LTE/4G 5,500	LTE/4G 119,100 3G 36,100
	—	—	—	—	—	—	BWA 63,500	—	BWA 63,500
	LTE/4G 4,800	—	LTE/4G 48,400 3G 37,000	LTE/4G 5,800	LTE/4G 14,500	LTE/4G 39,300 3G 78,900	—	LTE/4G 13,700	LTE/4G 126,500 3G 115,900
	—	—	—	—	—	—	BWA 63,000	—	BWA 63,000
合計	LTE/4G 18,300	LTE/4G 124,500 3G 104,400	LTE/4G 48,400 3G 37,000	LTE/4G 42,500	LTE/4G 31,900	LTE/4G 149,100 3G 150,100	BWA 126,500	LTE/4G 33,300	LTE/4G, BWA 574,500 3G 291,500

※3 調査票により調査した、各周波数帯を利用している基地局数（フェムトセル及び屋内基地局を除く。）

出典：平成30年度 携帯電話・全国BWAに係る電波の利用状況調査の 調査結果及び評価結果の概要

無線周波数電磁波で起きた生体影響

電力密度 ($\mu\text{W}/\text{cm}^2$)	影響	参考文献
0.0006 ~ 0.0128	携帯電話基地局からの慢性被曝で、 疲労、うつ、睡眠障害、集中困難、 心臓血管系の問題が報告された	Oberfeld (2004)
0.07 ~ 0.1	基地局周辺で被曝させたマウスの精 子の39 ~ 46%に異常が発生。被曝 しなかった対照群の異常は2%のみ。	Otitoloju (2010)
0.168 ~ 1.053	テレビ・ラジオ送信施設周辺で被曝 させたマウスは5世代後に取り返し のつかない不妊が発生	Magras と Zenos (1997)
0.21 ~ 1.28	携帯電話電磁波に45分被曝した若 者と成人は頭痛の増加を報告	Riddervold (2008)

出典：加藤やす子著、5Gクライシス

世界で採用されている5Gの主要な周波数帯

周波数帯	国・地域	特徴
1GHz以下 (通常600/700MHz)	EU、アメリカ、インド	長距離の通信で現在使われる周波数帯、低コスト
3～5GHz	EU、アメリカ、日本、韓国、中国	多くの周波数帯を利用できるが、事業者割り当てられる周波数帯は狭い
20～100GHz	EU、アメリカ、日本、韓国、中国、インド	狭い範囲(20～150m) 高速、低遅延

参考：EU“5G Deployment State of play in Europe, USA and ASIA” (2019)

出典：加藤やす子著、5Gクライシス

無線周波数電磁波で起きた生体影響

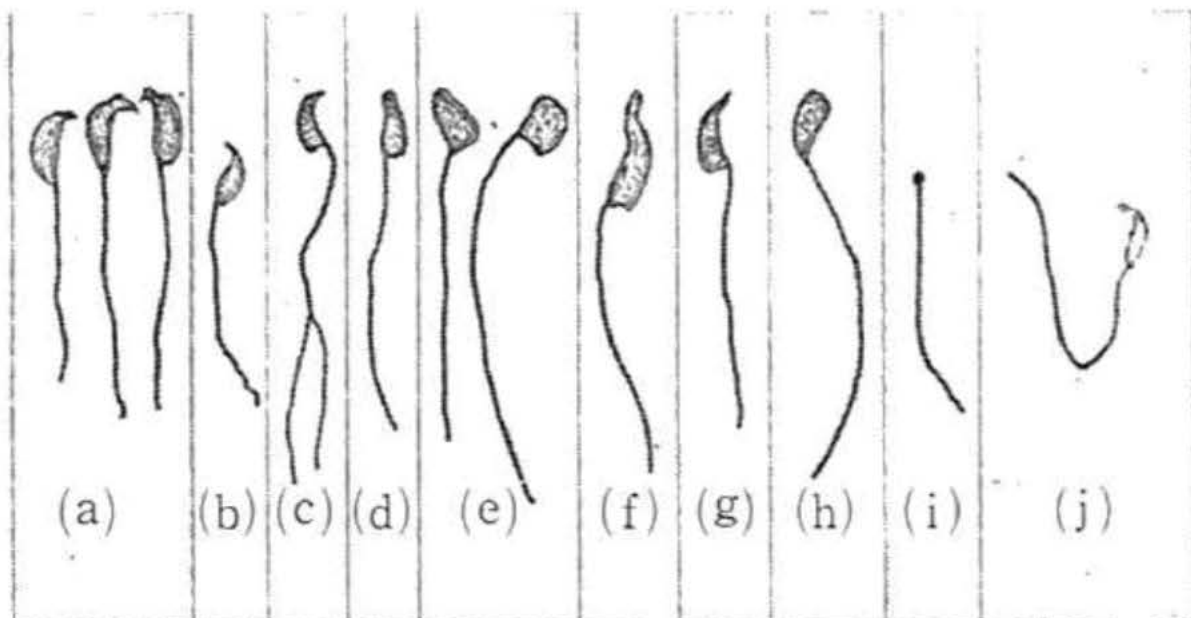
0.5～1.0	Wi-Fiに接続したノートパソコンの下に4時間置いた精子のDNA鎖が切断され、精子の生存能力が減少	Avendano (2012)
1.5	ラットの記憶能力が低下	Nittby (2007)
2	ラットの脳細胞でDNAの二重鎖切断が発生	Kesari (2008)
5	免疫に関わる細胞(NKリンパ球)が減少	Boscolo (2001)
28.2	ラットの細胞で活性酸素が増加	Yurekli (2006)
92.5	ヒトの白血球細胞で遺伝子が変化	Belyaev (2005)

参考：Bioinitiative 2012, A Rationale for Biologically-based Exposure Standards for Low-Intensity Electromagnetic Radiation

出典：加藤やす子著、5Gクライシス

基地局の電磁波に被曝させた精子の異常

(a) は正常な精子。(b) ～ (j) は異常を起こした精子。



出典：Otitolaju et al. Bull Environ Contam Toxicol (2018)84:51-54

出典：加藤やす子著、5Gクライシス

基地局周辺の疫学調査

携帯電話端末から発生する電磁波：基地局から発生する電磁波＝100：1

沖縄（新城哲治医師）：基地局撤去後の住民の健康状態の変化を調査
2008年基地局設置：住民の58%が体調不良（倦怠感、耳鳴り、頭痛、不眠）など170例確認された。基地局撤去後、22例に減少。

九州大学による調査：7つの幼稚園・保育園で子どもの健康調査実施、
基地局から300メートル以内に住んでいる子どもは、以遠に住んでいる
子どもに比べふらつき、胸が苦しいと訴える率が有意に高い。「夜中に
目を覚ます」3倍、「肩などを痛がる」6.2倍。

宮崎県延岡市における調査：住宅地マンション屋上にKDDIが基地局設
置後に健康被害発生、電磁波過敏症3名を含む健康被害を訴える住民が
162人いることが判明。主訴：耳鳴り、肩こり、頭痛、睡眠障害、目の
かすみ、めまい、ふらつき、集中力・思考力低下など、裁判所に提訴す
るが認められず。

出典：加藤やす子著、5Gクライシス

基地局周辺の疫学調査

携帯電話端末から発生する電磁波：基地局から発生する電磁波＝100：1

フランス（サンティーニ博士）：基地局から**300メートル以内**に住民に吐き気、食欲不振、視覚障害、イライラ、うつ傾向、集中困難、めまい、記憶障害、性欲低下、頭痛、睡眠障害、皮膚養生、疲労感、不快感を訴える率が高い。女性は男性よりも症状を訴える率が高い。

イスラエル（ウルフ博士）：基地局から**350メートル以内**に3-7年住んでいる住民、**発癌率**が市全体平均より**3.5倍**、女性の**発癌率は10.5倍**と報告

ドイツ（ブッフナー博士）：バイエルン市で基地局が稼働した直後から住民の尿中のホルモン検査、アドレナリン、ノルアドレナリンが6ヶ月間大幅に上昇、その後徐々に減少していった。

イラン（ガーロウェイ博士）：イスファハン市、基地局周辺に1年以上住む住民250人を調査、**300メートル以内の住民**は吐き気、めまい、怒りっぽさ、神経過敏、うつ、睡眠障害、**記憶障害** **性欲低下**が有意に多い。

出典：加藤やす子著、5Gクライシス

コロナ肺炎（？）を起こしているのか？

第5世代移動通信システム：28GHzミリ電磁波

電子レンジ：2.45GHz、20～90kHz電磁波

- ✧ 空気中の酸素の状態に影響を与える。
- ✧ ミトコンドリアの酸素利用に影響を与える。
- ✧ 電磁波が炎症性反応を惹起する。



フェリチン：鉄結合性タンパクの一種で鉄の水溶性、非毒化を保つ。

♂18-270, ♀18-260 ng/ml

感染や悪性腫瘍によって増加。低酸素症といったストレスに応答して増加。3000以上で**サイトカインストーム**を惹起する。



5G技術と皮膚細胞におけるコロナウイルスの誘導

M. フィオラネリ¹、A. セペリ¹、M.G. ロッチャ¹、M. ジャフェラニー²、O. ユウ、オリソヴァ³、K.M. ロモノソフ³、T. ロッティ^{1,3}

¹イタリア、ローマ、G.マルコーニ大学原子核・亜核・放射線物理学教室、²米国ミシガン州セントラル・ミシガン・サギノー、³ I.M.皮膚科・性病科、スケノフ第1モスクワ医科大学、モスクワ、ロシア。

2020年5月13日受領 - 2020年6月9日受理

本研究では、**5Gミリ波**がアンテナの役割を果たす皮膚下細胞に吸収され、他の細胞に転送され、**生体細胞内でコロナウイルスを生成する主役となる可能性を示した**。DNAは、電荷を帯びた電子と原子から構成され、インダクタのような構造を持っている。この構造は、リニア、トロイダル、ラウンドインダクタに分けられる。インダクターは外部からの電磁波と相互作用し、細胞内で移動し、いくつかの余分な波を発生させる。これらの波の形は、DNAソースの六角形や五角形の塩基の形と似ている。これらの波は、核内の液体にいくつかの穴を生じさせる。この穴を埋めるために、余分な六角形や五角形の塩基が作られる。これらの塩基は互いに結合し、コロナウイルスのようなウイルス様構造を形成することができる。このようなウイルスを細胞内で作り出すには、外部からの**電波の波長が細胞の大きさより短いこと**が必要である。そのため、5Gミリ波は、コロナウイルス (COVID-19) のようなウイルス様構造を細胞内に構築するための有力な候補となり得る。

<https://scienceintegritydigest.files.wordpress.com/2020/07/fioranelli.pdf>

私たちのニューノーマル：これからの暮らし方

不服従行動の開始；5G携帯電話、スマートメーターを使わない、買わない

5Gは危ない！

2時間の映画を3秒でダウンロードできる5Gと言われる次世代の大容量の電磁波は、より便利に生きるために必要と謳われる。しかし本当にそうだろうか？人間を含めた地球上の生物が健康を害してまで便利を追求する必要があるのか。

▶▶近距離でビームを浴びる

5Gの導入で問題となるミリ波。強い直進性があり、大量の情報量を送ることができる反面、電波の届く範囲が短いので約100mごとに基地局が必要とされる。新規の基地局のほか、既存の信号機、バス停、街灯なども利用され、近距離でビームを浴びることになる。

もともと5Gはアメリカ国防総省が冷戦時代に電子戦争を想定して開発された誘導性の電磁波武器。米軍として知られる電子銃は警察が暴徒化したデモを排除する目的で開発されたものでミリ波を発する携帯電話を持つことはこれに等しい。

▶深刻な被曝リスク

頭痛、耳鳴り、めまい、不眠、DNA損傷、不妊、発達障害、循環器疾患、認知機能障害、学習・記憶障害 など
さらに皮膚癌、水分を多く含む部位の病気（白内障などの目の病気、腎不全、流産や自閉症など胎児への影響）の懸念

すでに4Gでさえ100人に5～6人が電磁波障害を発症しているといわれ（携帯基地局だけでなく屋内Wi-Fiもその原因）同時にその8割は化学物質過敏症も発症。電磁放射線のないところに身を置けばその治療方法はなく第2の現代病となりつつある。
しかし企業側は「国の基準値を守っているので、健康被害はありえない」として被害を認めないはず。

また過去20年で電磁波放射線によって昆虫の8割がすでに失われている可能性があると言われており、これ以上の照射は更なる種の絶滅につながりかねない。

▶サイバーテロ・個人情報漏洩リスク

発行: THINK鎌倉thinkkamakura@gmail.com

5G曝露と新型コロナウイルス感染症との関連性を確認する研究結果

2022年2月18日（金） by: イーサン・ハフ。

疾患に適用される疫学的三要素（物質-宿主-環境）を考慮する上で、我々はCOVID-19パンデミックは環境要因として考えられる。マイクロ波やミリ波を含む無線通信システムからの周囲の高周波放射について調査した。COVID-19パンデミックを引き起こしたウイルスであるSARS-CoV-2は、都市全体（第5世代【5G】の無線通信放射線）の導入直後に中国の武漢で表面化し、急速に世界的に広がり、最初は最近5Gネットワークを確立した国際社会との統計的相関を示した。通信放射線が有毒な環境因子としてインフルエンザの大流行に貢献した可能性のメカニズムを特定できた。生物物理学と病態生理学の分野の境界を越えて、5G曝露による以下の影響を確認した。

1. 赤血球の形態学的変化（棘細胞やルーローの形成など）を引き起こし、凝固亢進の一因となりうる。
2. 微小循環を阻害し、赤血球やヘモグロビン濃度を低下させ、低酸素状態を悪化させる。
3. 免疫抑制、自己免疫、炎症亢進などの免疫機能障害を増幅する。
4. 細胞の酸化ストレスとフリーラジカルの産生を増加させ、血管傷害や臓器障害を引き起こす。
5. ウイルスの侵入、複製、放出に不可欠な細胞内Ca²⁺（カルシウムイオン）を増加させ、炎症性経路を促進する。
6. 不整脈や心疾患を悪化させる。

<https://www.naturalnews.com/2022-02-18-covid-disease-linked-5g-wireless-exposure-study.html>

私たちのニューノーマル：これからの暮らし方

5G携帯電話、スマートメーターを使わない

【日本各地と鎌倉市での5G反対運動】

東京都西東京市、千葉県野田市、柏市、埼玉県東松山市などでも5G基地局反対運動がおき、建設中止になった例あり。
東京都国立市、神奈川県三浦市、茨城県つくば市、福岡県太宰府市、岩手県盛岡市、宮崎県小林市でも規制条例を制定。
東京都多摩市でも5G対策の陳情が趣旨採択されたばかり。

鎌倉市では、由比ヶ浜、玉縄、七里ヶ浜、浄明寺、西鎌倉、山崎、梶原山地域の各自治会で基地局設置計画の撤回となった例がある。

これは、鎌倉市の「携帯電話等中継基地局の設置等に関する条例」を軸に、各自治会員や自治会長の意思を企業側にきちんと伝えられた結果であり、鎌倉市民の民度の高さがうかがえる。

鎌倉市の「携帯電話等中継基地局の設置等に関する条例」

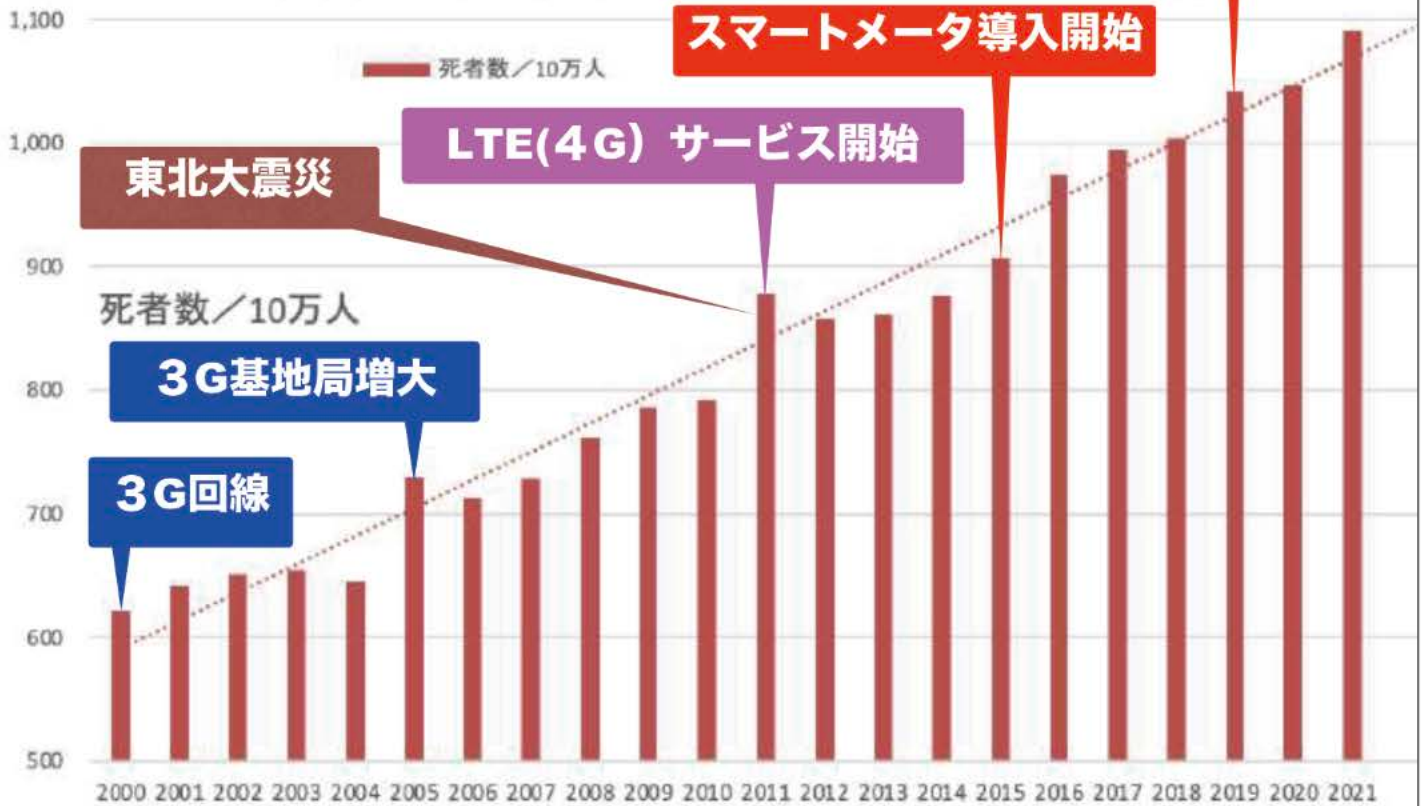
- ・携帯電話等の事業者は市内で基地局を設置・改造しようとするときは、計画の概要を事前に市に届け出て、計画の概要を「基地局の高さの2倍の範囲の近接住民」と「近接住民が属する自治町内会長」に説明して周知に努めること
- ・事業者は必要に応じ、自治町内会に計画の概要説明と周知に必要な資料を提供
- ・事業者は自治町内会から求められたときは説明会を開催すること

発行: THINK鎌倉thinkkamakura@gmail.com

平塚市人口動態データ

5G回線導入

平塚市10万人当たりの年間死者数（2000～2021年）



電磁波を用いた大量破壊兵器と人の管理と監視



5Gを基本としたSociety 5.0

Society5.0。

それは、IoTやAIといった先端技術によって、
社会課題を解決していくスマート社会のこと。

私たちの暮らしは、

Society5.0 でどんなふうが変わっていくのでしょうか？
ちょっと先の日常を覗いてみましょう。

▶ 0:00 / 5:03

音波・電磁波による人の心理コントロール

MKウルトラ計画につながる戦後の道筋

- **ペーパークリップ作戦**は、第二次世界大戦末から終戦直後にかけてアメリカ軍が、ドイツ人の優秀な科学者をドイツからアメリカに連行した一連の作戦のコード名である。ペーパークリップ計画 (Project Paperclip) とも呼ばれる。1945年、統合参謀本部に統合諜報対象局 (Joint Intelligence Objectives Agency) が設けられ、この作戦に関する直接的な責任が与えられた。
- **ブルーバード (BLUEBIRD) 作戦**は、薬物、催眠術[1]、隔離などの特殊な尋問方法を含むCIAプログラムの隠語である。1949年から1950年まで続き、その後「**ARTICHOKE**」と改名され、最終的には悪名高い「**MKウルトラ**」となる。このプロジェクトの責任は主にCIAの科学情報局にあった。

音波・電磁波による人の心理コントロール

ペーパークリップ・MKウルトラ計画

- チャッター計画とは、1947年秋に始まったアメリカ海軍の計画で、尋問における薬物の特定と試験、諜報員募集に焦点を当てたものである。動物と人間の両方を対象とした実験室での実験が含まれていた。1947年から1953年までメリーランド州ベセスダの海軍医学研究所チャールズ・サベージの指揮下で実施された。このプロジェクトは尋問に有効な合成および天然の薬剤を特定することを目標としていた。アナバシン（アルカロイド）、スコポラミン、メスカリンの使用を中心としたが、これに限定されたものではなかった。
- アーティチョーク計画 Project ARTICHOKE、別名オペレーション・アーティチョークは、米中央情報局（CIA）のプロジェクトで、尋問方法を研究するものであった。1951年8月20日に正式に発足し、CIAの科学情報部によって運営されていた。主な目的は、暗殺未遂行為を強制的に行わせることができるかを判断すること。また催眠、強制モルヒネ中毒（およびその後の強制遮断）、LSDなど他の化学薬品を使用して記憶喪失やその他の脆弱性を被験者に生じさせることなども研究していた。ARTICHOKEプロジェクトは、1953年に始まったMKUltraプロジェクトにつながった。

TETRA Feb 5th, 2001

TETRAと呼ばれる内務省の新しいマイクロ波システムは 英国警察の通信の主力となるもので、すべての主要な人口密集地に設置される予定である。英国政府は、**400MHzのパルス変調マイクロ波送信機ネットワーク**に25億ポンドを投じて、17.6Hzを英国の全警察官と3万台の送信機の近くに住む人々の脳内に照射する計画である。

この送信機が最初に配備されるのは、グラストンベリーである。この送信機は、CIAの研究した究極のマインドコントロール技術と完全に一致しており、その効果は次のとおりである。

- 17.6HzのELFの影響により、シナプスからのカルシウムの流れを阻害し、短期および長期の記憶を喪失させる。
- シナプスの神経回路網を破壊し、行動や性格を変容させる。
- 使用後、または被爆後、神経衰弱に続いて躁病的な行動をとる。
- 高次脳機能の破壊、いわゆる「ゾンビ化」を引き起こす。
- 被暗示性の強化。
- 前ガン細胞が生成され、長期的な腫瘍増殖につながる可能性がある。
- 大脳辺縁系への作用で、感情や行動の変化をもたらす。
- TETRAシステムのELF周波数はカルシウムイオンに強く作用し、サイクロtron共鳴によって脳細胞からカルシウムイオンを流出させる。

音波・電磁波による人の心理コントロール

MKウルトラ計画

- MKウルトラ計画は、アメリカ中央情報局（CIA）が立案・実施した違法な人体実験計画で、洗脳や心理的拷問により個人の能力を弱め、自白を迫る尋問の手順や薬物の特定を目的としていた。1953年から始まり1973年に停止（？）された。MKウルトラは被験者の精神状態や脳機能を操作するために、拷問に加え、大量の精神活性物質（特にLSD）その他の化学物質投与、電気ショック、催眠、感覚遮断、隔離、言葉や性的虐待など多くの方法を用いられていた。
- CIA科学情報部を通じて組織され、アメリカ陸軍生物兵器研究所が連携して実施。この計画は、アメリカだけでなく他の国の市民を無意識のうちに被験者とするなど違法行為に及んだ。1950年代から1970年代にかけて、7000人以上のアメリカ退役軍人が実験に非同意で被験者とされ、その多くが後に訴訟を起こしている。MKウルトラの範囲は広く、軍以外の大学、病院、刑務所、製薬会社など80以上の機関で研究を装って行われていた。これらの機関の一部の高官はCIA関与を認識していたが、CIAは隠れ蓑組織を用いていた。
- MK-ウルトラは1953年から1973年まで継続されたが、この不正計画の詳細は、米国内および世界中で広く行われていた違法なCIA活動に対する議会の調査が行われた1975年まで公表されることがなかった。

TETRA Feb 5th, 2001

Tetragramaton

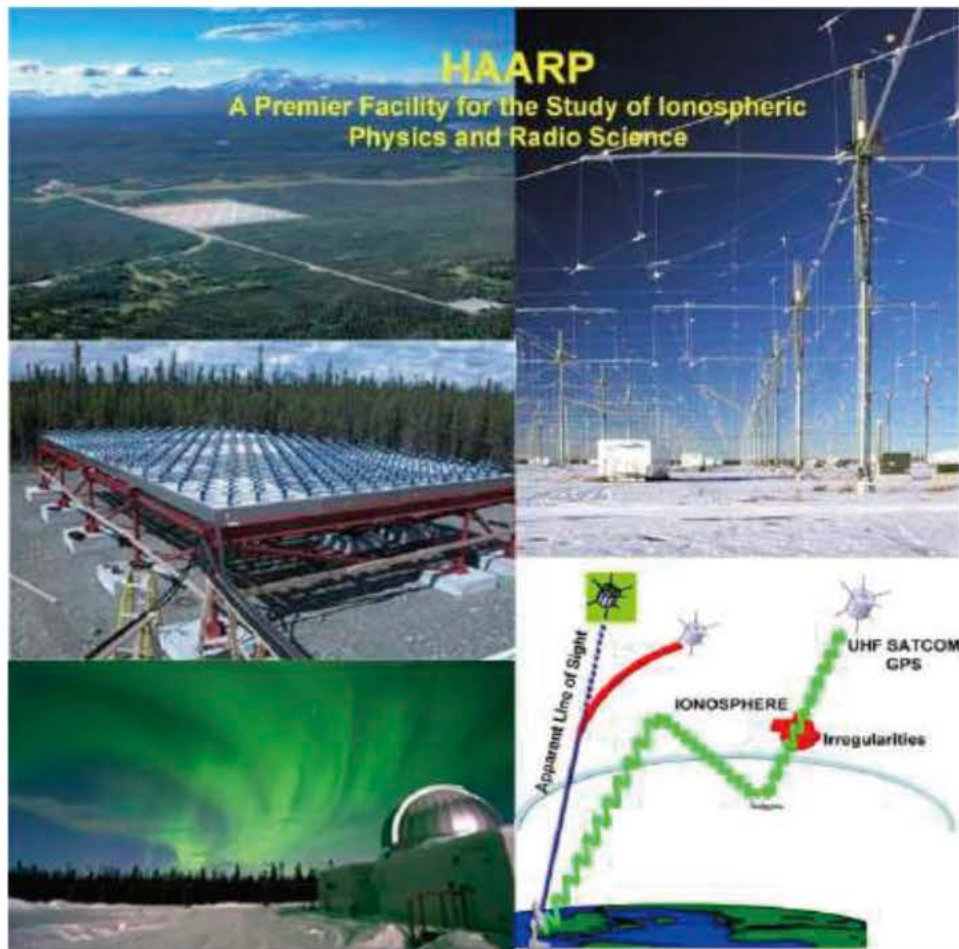
このイオンは、脳神経細胞の接合部であるシナプスの長期および短期の増強の主要因であり、記憶と認知に極めて重要であるため、このような規模のTETRAシステムの使用は、カルシウムイオンだけでなく、神経と脳の機能にとって不可欠なナトリウムイオン、カリウムイオンも攪乱して、不可逆的に脳に障害を与える可能性がある。

TETRAシステムはニューヨークとロンドンの地下鉄にも導入されるので、通勤客はラッシュアワーの間、定期的に挙動不審な状態に陥ることになる。

なぜ、中央線で電車への飛び込み自殺が多いのでしょうか？
日本の警察、人口密集地にテトラが設定されていると考えるのが合理的？日本は人の感情・行動操作の実験場？

<https://www.powerwatch.org.uk/science/guidetoemfs.asp>

大量破壊・殺人・感情操作兵器としての電磁波



ファラデー・ケージ



エドワード・スノーデンによる暴露

HAARP による暗殺とマインドコントロールプログラム

1. HAARP研究局は、アラスカ州ガコナ近郊の詮索されない場所に戦略的に設置されており、実際にはグローバル資本主義への反体制派を抹殺したり、数百万人規模で操作するために使用されている。
2. これらの地上波アンテナで、NATO（北大西洋条約機構）は、世界規模で、『逸脱した、あるいは破壊的な』思想を持つ『犯人』を遠隔で黙らせることができる。
3. HAARPは超高出力の電波を投射し、脳幹と同じ周波数で作動し、一見自然死のように見える死（検視官には脳卒中や心臓発作のように見えるものもある）を選択的に誘発させることができる。
4. 香港とモスクワの間を移動していた時、WikiLeaksのスタッフと私は、無線で発生する殺人妄想の脅威から常に身を守らなければなりませんでした。
5. ニック・ベギッチ（米国上院議員の弟）の発言「脳に影響を与えるだけで、とても簡単に感情状態の変化を達成できる」

ロックフェラー財団・プレイブック オペレーション・ロックステップ 2010年出版

第1段階

一般的な風邪/インフルエンザ。せいぜい軽い症状。

メディアは大衆のパラノイアと恐怖を惹起する。

欠陥のある検査システムを利用。体内のあらゆる遺伝物質を拾い上げ、陽性結果を誘発する。死亡診断書の変更、二重計算、他の病気や自然死を含むすべての死亡をCovid19として分類することによるCovid患者数の膨張。

第2フェーズ

第1段階では、食料不足、社会的疎外、マスク着用、日光不足、健康なバクテリアの不足により、免疫システムが低下し、弱体化する。5Gの放射線にさらされると、さらに免疫系が攻撃される。こうして、人々が再び社会に溶け込むとき、より多くの人々が病に倒れることになる。

これはCovid19のせいとされるであろう。これはすべて、ワクチン接種が正当化できるようになる前に起こるだろう。全員がワクチンを接種するまで、より長く、より強力なロックダウンが続くであろう。

第3フェーズ

もし大多数の人がワクチンに抵抗したら、兵器化されたSARS/HIV/MERSウイルスが放出され、多くの人々がこれで死ぬだろう。適者生存である。これはまた、正常な状態に戻すために、すべての人にワクチンを接種するようにという究極の働きかけでもある。ワクチンを接種した人は、接種していない人と競争になるでしょう。あらゆる方面から無政府状態になるのです。



5Gを無条件で推進する日本政府をどう捉え、どう関わっていかなくてはならないか



私たちに必要な判断と行動

人を含む全ての生き物に**誠実**な人を集め、互いに**尊厳**を認め合って支え合う**(側衆) 郷**を創る。

そのためには、

1. **5G通信、スマートメーターを拒否し、使用しない。**
2. 科学的根拠のない安全プロパガンダは全て疑い、政府、企業に安全性を保障させる**(安全性の確保)**。
3. 企業メディアの流す情報は全てスポンサー企業、政府のために視聴者を操作する木できであると認識する**(情報リテラシーを育てる)**。
4. 健康被害発生を予測して、Society5.0に関わる全ての新技術、製造物は予防責任も含めて**製造者責任**を取らせる。
5. **電磁波による人、組織、モノに対する影響に対する防御策**を協働で構築する。
6. 5G、他でパンデミックを意図的に起こし、生物兵器をワクチンと言い換えて市民に接種した全ての人、組織に**責任**を取らせる。

5G、電磁波兵器は世界支配の手段：

経済協力、国際機関による外貨支援、監視社会構築
軍事支援、ハニートラップ、脅迫、資源収奪、選挙監視
という名の選挙操作、政権転覆、最終的な軍事行動



5Gは他国は抵抗しています

	スイス	ベルギー	アメリカ	オーストラリア	イギリス	ドイツ	日本	イタリア
普及度	国内54地域 (遅れている)	各自治体が 権限を持つ ので不明	州による	実施中	試験段階	実施中	実施中	実施中
具体的 行動	州 vs 連邦政府	ブリュッセル 5Gテスト 禁止	学者、科学者、デモ (5G day of action) の行動などで反発	ARPANSA を中心に 健康問題に 言及	一部の都市 にて実施。 SIMカードの 販売基地局の 設置	市民が 5Gの 停止を請願	ほぼ 無	5G 専用 裁判所を 設置
デモ	有	有	有	有	有	有	無	有
主な 議論	5Gの普及を 進める連邦政府 vs 住民が反対 ↓ ヴォー市など で一部停止を 検討 スイス国民 投票のための 署名活動	2004 年 2005 年 ICNIRP の 基準通りに 国家レベル ↓ 2009 年 その基準を 地方自治に 任せる (現在まで)	5Gの潜在的 健康リスク において 研究機関で 意見が 分かれる	基準の 低さを 理由に 進行する 政府に 国内外 から 批判	反対運動や 健康被害 情報が 政府に 寄せられて いる	5G の 潜在的 健康リスク において 政府は 科学的根拠 は無いが 対応の ガイドライン を出している	総務省が ICNIRP のガイド ライン をもとに 条件付きで 300GHz まで許可	政府が 5Gの 潜在的 リスクを 考慮し 裁判所を 設置
5Gへの 反抗	80%	70%	50%	45%	39%	34%	3%	51%



世界の勇気ある科学者や医学者が証言し始めています

ウイルス学は 世界の支配層が作り上げた 詐欺です

コロナ、インフルエンザ、エイズ、麻疹、
ノロ、鳥インフル、狂犬病、その他
《ウイルスは存在しない》し感染もしません

病気の原因は別です
全てのワクチンはただの毒です
人々を病気にし医療で支配し製薬会社など
医療業界が儲かるためだけに
接種させられています



更なる情報が詰まった【並盛レジスタンス】のHPはこちら
あなたの目で見えて確かめてください!!
<https://www.nami-k.com/>

情報発信しています



並盛研究室



Twitter

Zoom 講演会

随時開催

開催予定の情報は
テレグラムのチャンネルから
配信しています

★登録お願いします



@N_KENKYUU4